

1日20分読書で出会える「宝本」

～絆を深め、感動を味わい、
自分を見つめる大切な一冊～

「1日20分読書」とは、すべての子供が読書に親しむように、1日20分程度の読書に取り組みましょうという運動です。

鹿児島県立図書館では、「1日20分読書」を通じての「宝本」の取組を呼びかけています。

○ 絆を深め、感動を味わい、自分を見つめる大切な1冊を「宝本」と呼んでいます。

○ 「宝本」は、成長に応じて、次のように広がっていきます。

● おやこ一冊読書による、おやこのふれあいの中で生まれます



- ・親子で読んで、楽しいひと時を過ごせたら……。
- ・親子で感じたことを語り合えたら……。
- ・子供が繰り返して読んでほしいと言ったら……。 など

● 楽しみながら読み、感動することで生まれます。



- ・主人公になりきって、夢中で読める本に出会えたら……。
- ・心をゆさぶられる本に出会えたら……。
- ・びっくりするような新しい知識に出会えたら……。 など

● じっくりと読み、自分を見つめることで生まれます。



- ・自分の生き方を見つめることができたなら……。
- ・ものの見方、感じ方や考え方を深め豊かにすることができたなら……。
- ・自分の将来に夢や希望を持つことができたなら……。 など

あなたも1日20分読書で「宝本」を見つけてみませんか。